



別府市楠町の共同温泉「寿温泉」はAI（人工知能）技術を使った顔認証システムを試験的に導入します。

① 共同温泉にAI技術を使った顔認証システムを導入するのはなぜでしょう？

地域の共同温泉は生活様式の変化などで利用者が減少。経営悪化で人件費のかかる番台が減り、管理が行き届かなくなるケースが増えているため。

② 導入する顔認証システムはどんな仕組みですか？

温泉の入り口に専用アプリを入れた携帯端末を設置。入浴客が画面の「受付」マークを押すと、携帯のカメラが顔写真を撮影。AIが認証した顔と登録者の顔が一致すると、扉の鍵を開ける指示が発信される仕組み。

③ 番台にAIを導入することによるメリットは何ですか？

AIが本格導入できて番台がなくなれば経営面のメリットは大きく、閉鎖しなくてすむ温泉もあるかもしれない。管理者は入浴客が誰かを確認できるので、地域の見守りや安否確認ができるメリットもある。



携帯端末を温泉の入り口に設置して、入浴客の顔を識別する。登録済みの顔と一致すれば自動で入り口の鍵が開く。別府市楠町

【別府】別府市楠町の共同温泉「寿温泉」は、AI（人工知能）技術を使った顔認証システムを試験的に導入する。登録した入浴客の顔を識別すると、入り口の鍵が開く仕組み。経営悪化で番台を預かる人が確保できない温泉が増える中で、試験運用の結果が注目される。

番台はAI

入浴客の顔を識別→入り口解錠

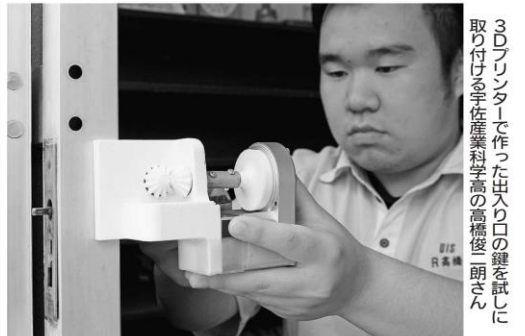
温泉入り口に、専用アプリを入れた携帯端末を設置。入浴客が画面の「受付」マークを押すと、携帯のカメラが顔写真を撮影。AIが認証した顔と登録者の顔が一致すると、扉の鍵を開ける指示が発信される。6月中の試験運用を目指して準備を進めている。

別府・楠町 共同温泉に試験導入へ



顔認証のため撮影した携帯端末の画面。顔写真は別府八湯温泉通名人会の佐藤正敏さん

理事長(48)によると、住民の利用が多い地域の共同温泉は、生活様式の変化などで利用者が減少。経営悪化で人件費のかかる番台が減り、管理が行き届かなくなるケースが増えているという。



3Dプリンターで作った出入り口の鍵を試しに取付けする宇佐産業科学高の高橋俊一朗さん